TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

王が来られた 彼が新しい王！？
マタイによる福音書 22:41-46

2022年8月20日&21日
余沢 武 牧師

I.はじめに

こんにちは。今日で「王が来られた Ⅰ」のシリーズを終えます。先週は、ファリサイ派の人々がどの戒めが最も重要かとイエスに尋ねる場面をみました。イエスは「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」と言いました。それはすなわち、私たちがこのようにすることを意味します：

・神を「創造主」として認める。
・神の力と神の忠実さを信頼する。
・「神の言葉」に従う。

私たちはこのようにすると決断し、そうすると意思を働かせ、そうすることを選択するのです。その結果として、私たちは「他人を愛する」ようになります。今日は、イエスがファリサイ派の人々に質問をする場面を見ていきます。まず、お祈りしましょう。

II. 彼が新しい王！？

(1)イエスの質問

マタイ22:41－42を開きましょう。
ファリサイ派の人々が集まっていたとき、イエスはお尋ねになった。「あなたがたはメシアのことをどう思うか。誰の子だろうか。」彼らが、「ダビデの子です」と言うと、

・メシアとは「王― 神に選ばれし王、神の御国を築く者」という意味です。
・「誰の子だろうか？」というのは、「誰の子孫にあたるのか？」という意味で、彼らは「ダビデの子です」と言いました。

思い出してください、イエスはご自分自身が「メシア」であることを示してきました。権力者たちは、イエスが自分は「ダビデの子孫」であることを明らかにすることで、自分こそが「メシア」であることを証明しようとしているのだと考えました。誰しもが「メシア」についてそう信じていたからです。

43―46節：イエスは言われた。「では、どうしてダビデが、霊を受けて、メシアを主と呼んでいるのか。『主は、私の主に言われた。「私の右に座れ 私があなたの敵を あなたの足台とするときまで。」』このように、ダビデがメシアを主と呼んでいるのであれば、どうしてメシアがダビデの子なのか。」これには誰一人、言葉を返すことができず、その日からは、もはや、あえて質問する者はなかった。

注目してください、イエスは、聖書とは人間の著者が「霊に触発されて」書いたものであることを信じていました。

よく両親が出かけるとき、子供たちに次のようなメモを残していくことがあります。
机の上にあなたのための「ケーキ」があります。
「お昼ご飯」は冷蔵庫に入っています。
冷凍庫に「アイスクリーム」があります。

両親は、子供にわかりやすい言葉で書きます。何故でしょう？子供たちのことを想っているからです。さらに、子供にわかりやすいようにメッセージを伝えることができるからです。

神も同じです。神は私たちのことを気にかけてくださっています。そして神は私たちがわかりやすいようにメッセージを語ります一聖書によってです。イエスは聖書についてそのように信じていました。

イエスによると、神はメシアについて私たちに語りました。それは、「ダビデですらメシアを“主”と呼ぶであろう」ことでした。イエスはダビデによって書かれた詩編110章を引用しています。

詩編110:1 ダビデの詩。賛歌。 主は、私の主に言われた。「私の右に座れ 私があなたの敵をあなたの足台とするときまで。」

2種類の「主(Lords)」に注目してください。1 つ目は全て大文字の「主(LORD)」。2 つ目は頭文字のみが大文字の「主(Lord)」です。1 つ目の「主(LORD)」は神の名前「ヤハウェ(YHWH)」または「わたしは『ある』」を訳したものです。

2 つ目の「主(Lord)」は「主」という言葉の訳で、より高い位にいる人、ここでは「メシア」のことです。

ダビデは、神、またはヤハウェ(YHWH)がダビデの子孫であるメシアに話しかけていることを表しています。イエスの質問は、もしメシアがダビデの子孫ならば、何故ダビデはメシアのことを「私の主」と呼ぶのか？でした。
ユダヤの文化では、父親はその息子たちや子孫のことを「主」とは呼びませんでした。息子や子孫たちが父親を敬い、彼らの方が父親を「主」と呼びました。そのため、メシアもダビデのことを「主」と呼ぶべきであり、ダビデがメシアを「主」と呼ぶべきではないのです。

実際、ダビデは神の人々にとってそれまでで最も偉大な王だったので、誰のことも「主」と呼ぶべきではありませんでした---神に話している時を除いては。私たちが見ているのは、実際にその者、メシアが神の右手に座るよう招かれ、神と共に全世界を支配しているということなのです。

このメシアは「ダビデの子」としてよりも、より「神の子」として扱われている。イエスは質問しました、何故？

何故なら、彼らは両方だったからです。メシアはマリアから生まれましたが、マリアは聖霊によって身ごもりました。彼は「ダビデの子」でしたが、彼は「神の子」でもあったのです。それは「言(ことば)」とも呼ばれています。

ヨハネ 1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

「言」とは幅広い意味を持つ用語で、次のようなことを意味します。

コミュニケーションに用いられる「話し言葉」または「書き言葉」、今日一般的に使用されている通り。
私たちの精神の中にある「語られない言葉」---私たちの「理性」のようなもの。また人の内の「理性」だけではなく、万物の「理屈」や「法則」のことでもある。

古代の人々は、日が昇ったり沈んだりする様子や季節の移り変わりの中に「秩序」を見いだしました。彼らはまたこれを「言」と呼びました。私たちが「自然の法則」と呼んでいるものは、「言」の一部であるとみなされていたのです。例を挙げると---

「巨大宇宙の法則」---1 億以上の銀河が存在し、全ては絶えず動いています。それらは全て考慮され、「言」によって統治されているのです。

「極小宇宙の法則」実際、ミクロの世界は存在し、さらに「言」を見ることが出来ます。

「生化学」は全ての生物は同じ DNA 構造を持ち、4 つの種類の分子―4種類の塩基で構成されていることを教えてくれています。あなたがこの 4 つの順序を変えると、地球上全ての生き物― 人、魚、蟻、植物、バクテリアなど、全てを手に入れることになります。
「化学」は、DNA を含む全てのものは原子から成り、全ての原子は同じ 3 つの粒子―陽子、中性子、電子で構成されていることを示しています。

「素粒子物理学」は、これら粒子を含む全てのものは、20 種類未満のより細かな素粒子から作られていることを示しています。

これらは結び合わさることで原子、DNA、生物、植物、惑星、銀河を作り、全宇宙は「自然の法則」すなわち「言」によって統治されているのです。

「創造の主体」 神が「光あれ。」と言った時、光がありました。聖書によると、それは「言」であり、全てのものを生み出した。
「神の思いの啓示」 神が創造物に「言」を通してご自身をあらわした。

「言」は「表現」であり、「統治する力」であり、「 創造の主体」であり、「神の思いの啓示」です。そして聖書は「言」は肉---ダビデの子 になったと言っています。

彼は「神の子」であり「神の言葉」であり、神の右に座り、神と共に全宇宙を支配しています。そしてダビデは彼を「私の主」と呼びました。

「ユダヤの権力者」たちは、イエスがただご自分はメシアであると主張しているのではないことに気付いていました。イエスは神または神の子であると主張していました。そして彼らは敢えて口を開きませんでした。

(2)その意味

イエスはなぜ彼らにこのような質問をしたのでしょうか？なぜなら、もし彼らがちゃんと理解していたら、それまでの彼らの神の御国についての理解が全く変わるからです。もしメシアが、ダビデの王国を築きにやってきたダビデの子孫に過ぎないとしたら、次のようなこの世的な王国を再構築することになります：
ローマ帝国を屈服させる。
すべての民族を統治し、「平和」と「宗教の自由」を全ての人々のために保証する。
人々は自由に「商業活動」や「取引」によって富を手に入れることが出来る。

しかし、もしメシアが神ご自身であり、神の御国を築きにきた神の子であったなら、最終目的は全く別なものになります。それは彼の王国がどんなものになるかではなく、もっと良い物になるでしょう。思い出してください、イエスの最も重要な戒めは何だったでしょうか？イエスは全ての人にとって次のような王国を築くつもりでした：
「心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」全て人がこれらにフォーカスする：
・神を創造主として認める。
・神の力と神の忠実さを信頼する。
・「神の言葉」に従う。全ての人がそうすると決断し、そうすると意思を働かせ、そうすることを選択する。
その結果、人々は真に「互いを愛する」ようになる。

これは、全く違う概念のものだったでしょう。1990年代に3D ステレオグラムのポスターというものが人気を博しました。覚えていますか？それを見るときには、そのさらに向こうに焦点を合わせる必要があります。すると突然、全く違うイメージが見えるようになるのです、3D で。

ユダヤの人々にとっても同じでした。彼らは「神の御国」を見ています。しかし、「ダビデの子」に焦点を合わせることを止めて、「神の子」に焦点を合わせ始めた時、突然全く違うものが見えてきました---全く違う種類の王国---神が全て統治する王国が。

それはどんなものか考えてみてください：
もし神が教会全体を統治していて、もし神が牧師ならば、教会のために何を望むでしょうか？
もし神がミニストリー全体を統治していて、もし神がリーダーなら、ミニストリーのために何を望むでしょうか？
もし神が全ての親を統治していて、もし神が親なら、子供のために何を望むでしょうか？
もし神が会社全体を統治していて、もし神が経営者なら、従業員のために何を望むでしょうか？
もし神が政府全体を統治していて、もし神が政府の長、首相や大統領などなら、民のために何を望むでしょうか？

重要な事は、神はご自分の教会、ご自分のミニストリー、ご自分の子供たち、ご自分の従業員、ご自分の民に次のことを望んでおられます：
・神を創造主として認める。
・神の力と神の忠実さを信頼する。
・心から「神の言葉」に従う。

メシアが来られる時、全てがこのようになりでしょう。ユダヤの権力者たちはそれに気付いていませんでした。私たちはどうでしょうか？

しかし、メシアが来られたとき、このような人々はいませんでした。そのため、ご自身の御国を築くために：
彼は私たちの罪のために十字架で死に、3 日目によみがえりました。神の民になりたいと望んだ人々にはご自身の聖霊を与え、いつも神を創造主として認め、神の力と神の忠実さを信頼し、心の底からから「神の言葉」に従う、「神の民」になれるようにしてくださいました。

王が来られました。あなたは彼をご自分の王として受け入れましたか？もしまだしていないなら、ぜひ今日彼を受け入れてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg3422jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月10日（土）13：30～17：30
★クラス 201
クリスチャンとして成長するクラス
9月24日（土）13：30～17：30

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）
1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4名募集）
月1回～各礼拝の時間（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org